

※この説明書は、使用前によくお読み下さい。  
なお、服用が終わるまでお手元に保存して下さい。

## 解熱鎮痛薬 痛みと熱に **ネオ快速トンプク**

### △ 使用上の注意

#### ⓧ してはいけないこと ⓧ

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

- 次の人は服用しないこと。  
(1) 本剤による過敏症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人。  
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。  
(3) 15歳未満の小児。  
(4) 出産予定日12週以内の妊婦。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬。
- 服用後は飲酒しないこと。
- 長期連用しないこと。

#### ■ 相談すること ■

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること。  
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。  
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(3) 高齢者。  
(4) 本人又は家族がアレルギー体質の人。  
(5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(6) 次の診断を受けた人。

- 心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

裏面もお読み下さい

まれに下記の重篤な症状がおきることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる等)があらわれる。
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合

#### 【用法用量に関連する注意】

- 1日1回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用すること。
- 15歳未満の小児には服用させないこと。

#### 保管及び取り扱い上の注意

- 直射日光のあたらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと。  
(誤用の原因になったり品質が変わる。)

製造販売元

**天真堂製薬株式会社**

奈良県高市郡明日香村越495-1

「お客様相談窓口」(電話0744-54-3088)  
受付時間:9時～17時(土、日、祝日を除く)